

A-TS07-46 地球に優しいスターリングサイクルシステムの実用化研究会  
第1回研究会議事録

主査 防衛大学校 香川 澄  
幹事 東京農工大学 上田祐樹

日時 平成20年6月6日 15:30~17:00

場所 日本機械学会会議室

出席者 18名(平塚善勝, 篠木政利, 一色尚次, 竹内誠, 原村嘉孝, 山里久雄, 海法俊光, 濱口和洋, 平田宏一, 畠沢政保, 宮内正裕, 荒岡勝政, 田中峰雄, 花村克悟, 関谷弘志, 王凱建, 香川澄, 上田祐樹)

#### 内容

防衛大学校教授香川主査より研究会の立ち上げの挨拶があり、その後、出席委員(18名)が挨拶を行った。話題提供は明星大学教授濱口委員と香川主査から行われた。

濱口委員からは「スターリングエンジンの現状」と題した話題提供があり、日本において、スターリングエンジンのライセンス生産が始まり、現在数十台の生産が行われていること、海外において積極的に開発が進んでおり、数社のエンジンの量産化が行われそうであると説明があった。また、ニーズの発掘や燃料の選択などの実用化を目指すに際し問題となる点について活発に議論が行われた。

香川主査からは昨年に行われた International Stirling Engine Conference に関する報告が行われた。会議全体では260名の参加があつて大変盛況で、講演発表者は65名、講演会参加者は169名；日本69%，ヨーロッパ20%，北アメリカ5%，アジア5%と国際色豊かであつた。見学会の報告もあつた。次回はオランダで開かれる予定であると報告があつた。

研究会の最後に、本研究会がどのような方向を目指して活動していくのかについて委員全員での議論を行った。

以上